
所 属 : 国際学部

職・氏名 : 教 授 岩井 千秋

U R L : <http://chiaki.intl.hiroshima-cu.ac.jp/>

研究キーワード : コミュニケーション方略、第二言語習得、外国語使用

■研究テーマ

① テーマ : 「英語を英語で」教える高等学校新指導要領が大学英語教育に与える影響

概要 : 高等学校の英語指導要領が改正され、平成 25 年度から英語科目は基本的に英語で教えることとなりました。新指導要領による指導を受けた高校生は平成 28 年度から大学に入学してくることになり、この影響は大学にもこれから波及することが予想されます。本研究は、平成 25 年度から 5 年間にわたり高校で旧、新の指導に基づいて指導を受けた後に大学に入学してくる学生の経年的な変化を調査すると同時に、英語を英語で教えるための指導法や教材開発などを指すものです。中・四国 5 大学 6 名の教員と連携して取り組んでおり、科学研究費の助成（平成 26～30 年度基盤研究 B、課題番号 26284080、代表者は筆者）を受けています。

② テーマ : オーラル・プレゼンテーション&パフォーマンス (OPP)

概要 : この研究は、英語学習者の発表技能やパフォーマンス向上を目的とするもので、筆者の所属する学会（大学英語教育学会中国・四国支部）のメンバーと一緒に 2009 年から取り組んでいます。研究会のハイライトは毎年、秋（12 月）に開催する発表イベントで、授業等で指導している大学生英語学習者による発表のパフォーマンスを披露してもらいます。また各教員が指導の成果を披露することで、具体的な発表事例に基づいて英語による発表技能を高める指導方法を、研究メンバーと連携して模索しようとするものです。イベントは無料で一般にも公開していますので、どなたにお起こしただいても構いません。研究成果は次のサイトで公開しています：
<http://chiaki.intl.hiroshima-cu.ac.jp/Bulletin/07OPP/> 本研究が科学研究費の助成（平成 26～28 年度基盤研究 C、課題番号 26370648）を受けました。

■研究テーマの応用例

外国語教育への授業実践、英語授業への応用、英語使用能力の向上に関心のある学習者の指導、国際交流に必要な異文化間コミュニケーションの実践指導など。

■主な著書、発表論文

- ・ Iwai, C., et al. (2017). The influence of the teaching English in English (TEE) policy on English education and learners. 『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』 No. 14, 19-36.
- ・ 岩井千秋他 (2016). 「Oral Presentation & Performance (OPP)のイベントを通じた協働学習活動とその教育効果の理論化」『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』 No. 13, 1-18.
- ・ Iwai, C. (2012). Enhancing critical assessment ability through oral presentation. *JALT 2011 Annual International Conference Proceedings*, pp. 241-250.
- ・ 岩井千秋(2010)「コミュニケーション能力育成のための方略指導」, 小嶋英夫・尾関直子・廣森友人編著『成長する英語学習者—学習者要因と自律学習』, 大修館書店.

■想定される連携先

- ・ 中等、高等教育機関、学校関係者 ・ 市教委、県教委などの教育行政機関
- ・ 外国語や国際交流などに関係するボランティア団体